

問1 次のうち、目に見えない「気体」のなかまはどれですか。

問2 固体である氷を温めたとき、何に変化しますか。

問3 熱せられた水が100℃近くになり、さかんにあわを出しながらわき立つことを何といいますか。

問4 すいじょうき水蒸気や空気のように、目に見えない状じょうたい態のことを何といいますか。

問5 プラスチックの容ようき器に水をすき間なくいっぱいに入れて、冷れいとうこ凍庫で凍らせると、容ようき器や氷の様子はどうなりますか。

問6 お湯をわかしたときに見える「湯気」は、水じょう気がどのようになってできたものですか。

問7 氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状じょうたい態のことを何といいますか。

問8 次のうち、かたまりになっていて、自由に形を変えられない「固体」の例はどれですか。

問9 水がふっとうしているとき、水の温度はおよそ何℃になりますか。

問10 水やアルコールのように、はっきりした形がなく、容ようき器によって自由に形を変えられる状じょうたい態を何といいますか。

問11 水を熱し続けたときに、入れ物の中の水がへ減っていくのはなぜですか。

問12 水を熱したときに、中から出てくるあわの正体は何ですか。

問13 水じょう気が空気中で冷やされて、目に見える小さな水のつぶになったものを何といいますか。

問14 水が凍り始めてから、すべての水が完全こおに凍ってしまうまでの間、温度はどのようになりますか。

問15 コップに水を入れて部屋においておくと、何日かたったあとに水のかさがへっていました。これは、水がどうなったからですか。

問16 水がふっとうしているとき、水の中はどのような様子になりますか。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え すいじょうき 水蒸気	すいじょうき 水蒸気は目に見えない気体です。湯気や水は目に見える液体で、水は固体です。
問2	答え えきたい 液体である水	えきたい 固体である氷を温めると、液体である水に変化します。
問3	答え ふっとう	げんじょう 水が熱せられて100℃近くになり、さかんにあわを出してわき立つ現象を「ふっとう」といいます。
問4	答え 気体	すいじょうき じょうたい 水蒸気や空気のように、目に見えない状態のことを気体といいます。
問5	答え 氷の体積が大きくなって、容器が外側にふくらむ	ようき 水が氷になると体積が大きくなるため、容器いっぱいの水が凍ると、大きくなった分だけ容器を外側に押し広げます。
問6	答え 空気中で冷やされて、目に見える水のつぶになったもの	湯気は、水じょう気が空気中で冷やされることで、目に見える水のつぶに変化したものです。
問7	答え 固体	じょうたい 氷や鉄のように、かたまりになっていて、自由に形を変えられない状態を固体といいます。
問8	答え 氷	じょうたい 固体は氷や鉄のように、かたまりになっていて形を変えられない状態のことです。水や空気は形が変わるため固体ではありません。
問9	答え 100℃近く	水がふっとうしているときの温度は、およそ100℃近くになります。
問10	答え えきたい 液体	ようき じょうたい えきたい はっきりした形がなく、入れる容器に合わせて自由に形を変えられる状態のことを液体といいます。
問11	答え 水がじょう発して空気中に出ていくから	じょう 水がじょう発して空気中に出ていくことで、入れ物の中の水は減っていきます。
問12	答え 水じょう気	水を熱したときに出てくるあわの正体は、水がすがたを変えた水じょう気です。
問13	答え 湯気	水じょう気が空気中で冷やされて、目に見える小さな水のつぶになったものを湯気といいます。
問14	答え 0℃のまま変わらない	こお ごお 水が凍り始めてから全部凍るまでの間、温度は0℃のまま変わりません。
問15	答え じょう発して水じょう気になったから	水は熱していなくても、まわりの空気中へ少しずつじょう発して水じょう気になるため、水のかさがへっていきます。
問16	答え さかんにあわを出しながらわき立つ。	水がふっとうすると、温度が100℃近くになり、さかんにあわを出しながら激しくわき立ちます。